

プログラム近況報告

タイ王国 タブ・タオ地域開発プログラム(THA-182314)

2013年度(2012年10月1日～2013年9月30日)

子どもたちの能力向上と健康推進に努めました

2013年度、タブ・タオ地域開発プログラム(以下、ADP)では、プロジェクトの第1段階として5年間の活動が終了し、第2段階のスタートの年となりました。この第2段階では、地域住民によってさらに自立や発展を目指した活動が進められるようタブ・タオ地区の10の村で、支援活動を行いました。

教育プロジェクトでは、子どもたちの読み書き、算数の能力向上に努めました。また、経済開発プロジェクトでは、貧しい世帯の収入向上のため、政府の農業局や土地開発局などと協力し、農家の農業知識、生活技術、そして市場開拓能力向上のための活動を実施しました。保健衛生プロジェクトでは、地域の病院と連携し、子どもたちや家族の健康を推進するボランティアを育成するため、2つの保健衛生ネットワークを立ち上げることができました。



教員が作った絵本の話をも熱心に聞く子どもたち

チャイルド・スポンサーの皆さま

日ごろより、チャイルド・スポンサーシップを通して、温かいご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。2013年度の活動報告として「プログラム近況報告」と、チャイルドの「成長報告」をお届けいたします。昨年度も活動を進めることができましたのは、子どもたちを思い、継続的にご支援をくださる皆さまのおかげと、感謝しております。この1年の地域支援における活動の成果、今後の課題をご確認いただくとともに、チャイルドの成長とともに喜んでいただけますと幸いに存じます。

皆さまのチャイルド、そしてすべての子どもたちが健やかに成長できる地域となることを目指し、活動を続けてまいります。皆さまの尊いご協力を、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人
ワールド・ビジョン・ジャパン
常務理事・事務局長

片山 信彦



ADPマネージャーからのごあいさつ

今年度、タブタオ地域の活動が始まってから6年目を迎えました。地域では、子どもたちが健やかに成長できる地域づくりを、より自立した発展性のある形で進めています。これらの活動は、すべて皆さまからのご支援なくしては実施できませんでした。さらなる前進のために、今後とも温かいご支援をよろしくお願いいたします。

ボンリエム・サンカンパン (タブ・タオADPマネージャー)



経済開発プロジェクト

より安定した、そして持続的な経済力が付いてきています

小規模農家の課題は、仲買人や流通業者との交渉力を持つことと、消費者のニーズを的確にとらえることです。その課題への取り組みとしてADPでは、農民たちが2つの村で市場を立上げることがを支援しました。タブ・タオ地域の農家の米、キャベツ、トウモロコシなどの新鮮な作物やゴムを、定期的に直接消費者に届けられるようになりました。生産者としてだけでなく、販売や流通にも携わるようになりました。この活動に携わる100あまりの農家は、少しずつビジネスについての知識や経験を蓄積し、共同で価格交渉をしたり、消費者の求める無農薬・減農薬の農産物を生産するため、品質管理の重要性について理解するようになってきています。

一方、各村から2人ずつ選ばれた20人の経済開発委員は、地方政府とも協力して、農民が焼き畑農法を止めて定着型・持続型の農業に転換するよう活動を行っています。そのためプロジェクトでは、定着型農業の推進と、収入源の多様化を目指して、47家族にゴムの木を支援しました。利益率の高い産物を加えることで、家族が焼き畑をしなくても持続した経済力を持つことが目標です。

村の農家から仲買人を通さず新鮮な生産物を直接消費者へ届けます



ゴムの木の支援を受け、収入向上を目指す家族



スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

「スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト」では、チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。そのため、チャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、さらに地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認を行っています。また、チャイルドの家族や地域の人たちが「子どもを中心とした開発」を理解し、その支援活動の中心を担っていくような啓発活動も行っています。

保健衛生プロジェクト

健康管理能力の向上を目指しています

地域の医療機関と協力し、2つの保健衛生ネットワーク^{*}が設置されました。活動の中心になっているのは、村の50人の保健ボランティアです。ボランティアたちは、地域でよくある健康問題、健康に過ごすための基本的なケアや公衆衛生の知識を住民に伝え、担当する村人たちの最新の健康記録を取り、必要に応じて医療機関への受診を勧めます。また、病気が発生した時や健康キャンペーンを実施する時にも家庭を訪問し、適切な指導を行います。

そのほか、6つの村で浄水器の設置を支援した結果、今年度は1,223世帯が清潔で安全な飲料水を飲めるようになりました。また腎臓や心臓など重篤な疾患があるにもかかわらず、経済的な理由で受診できない子どもたちとその家族に、治療のための経済的支援を行いました。

^{*}保健衛生ネットワーク・・・住民の保健衛生に関わる知識や能力向上のため、住民リーダー、病院関係者、医師、保健ボランティアで構成されるグループ



設置された浄水器を使用する子どもたち



村の保健ボランティアへの講習と実技研修



保健衛生ネットワーク委員会のメンバーによる2014年度の計画の話合い



浄水器を使用しタンクに水を貯める母親

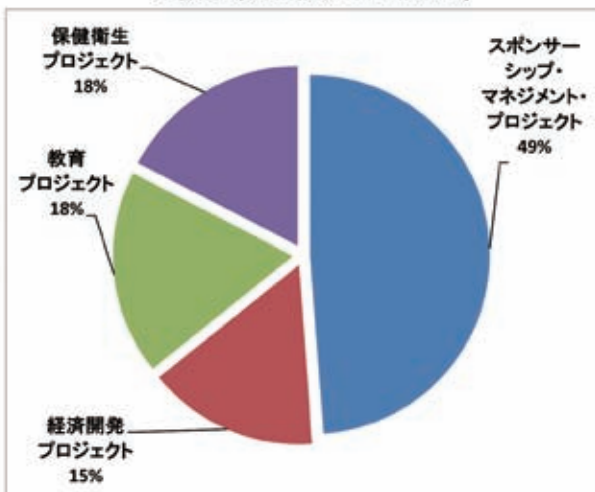
会計報告

収支計算書

自 2012年10月1日 至 2013年9月30日

プログラム支援額		THA-182314 (単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ		18,340,502
当期支援額		18,340,502
前期繰越金		3,132,119
プログラム支援額合計		21,472,621
プログラム支出額		
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト		9,438,673
経済開発プロジェクト		2,973,288
教育プロジェクト		3,549,381
保健衛生プロジェクト		3,366,529
プログラム支出額合計		19,327,871
次期繰越額		2,144,750

支援分野別内訳(THA-182314)



教育プロジェクト

読み書きと算数の強化に注力しました

教育プロジェクトでは6～11歳の子どもたちを対象に、読み書きと算数の能力強化に努めています。タイ語を母語としないタブ・タオ地域に住む少数民族の多くの子どもたちにとって、これらの能力強化は彼らの将来にとって必要な基礎学力を養う機会となります。プロジェクトでは今年度、地域の3つの学校の生徒を対象に読書キャンプを実施、子どもたちに読書の習慣が



手作りの教材を使用して生徒の指導をする教員

定着するよう働きかけました。また1校へは教材の支援を行いました。教員自身が絵本などの新しい教材を作成し、それが生徒の読解力や、算数の問題を解く力を伸ばすことにつながりました。その結果、6～11歳の347人の子どもたちがこれまでよりも読解力、算数ともに能力が向上しました。



読書キャンプで課題に取り組む生徒たち

チャイルド・ストーリー

栄養不良を防ぐためには、単に食料をたくさん摂取することだけではなく、5大栄養素をバランスよく摂取することが重要です。しかしそのためには、基本的な栄養の知識とそれを適切に調理する技術が必要です。ADPでは50人の村落



セワンさん親子と鶏小屋

保健ボランティアと協力し、栄養不良が懸念される家族を見出し、栄養価のある食物に関する教育と、その栄養源、また収入源ともなる産卵鶏の提供と、育て方の技術指導の支援を行いました。

34歳になるセワンさんもそのような家族の父親でした。「私はモン族で、タイ語も上手ではありません。そこで、私の子どもが栄養不良と診断された時も、最初はその意味がよくわからず、ましてや対処の方法も知りませんでした。そうこうしている内に、子どもの体調が日に日に悪化していることがわかりました。ある日、ADPの会合に参加して、子どもの栄養不良には、5大栄養素が重要という話を聞きました。養鶏の支援も受け、その収入によって子どもたちに卵や栄養価の高い食べ物を与えることができるようになり、子どもの健康が目に見えて改善してきています。この活動に心から感謝しています」

※5大栄養素…炭水化物、たんぱく質、脂質、ビタミン、ミネラル

お問い合わせ

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

電話：03-5334-5351 FAX：03-5334-5359

e-mail：dservice@worldvision.or.jp ホームページ：www.worldvision.jp

ワールド・ビジョン・ジャパンの活動についての最新情報を掲載しております。ホームページにぜひお立ち寄りください。

プログラム近況報告

タイ王国 タプラヤ地域開発プログラム(THA-191642)

2013年度(2012年10月1日～2013年9月30日)

教育の質の向上が 外部からも評価されました

「昨年はワールド・ビジョンの支援によって教員研修の機会が与えられ、教育の質の向上に大いに役立ちました。そのこともあり、タイ中央政府教育省の定める学校設置基準を満たしている、という認定を受けることができました。私たちの学校には6学年103人の生徒がおり、そのうち21人がワールド・ビジョンのチャイルドです。今回、こうして学校の教育の質が向上したことは、すべての子どもたち、そして地域の人々にとって誇りとなるものです。ワールド・ビジョンの支援に心から感謝しています」と小学校の校長先生は嬉しそうに語りました。



野菜作りを行う子どもたち。収穫した野菜を食べることを楽しみに、大切に育てています

チャイルド・スポンサーの皆さま

日ごろより、チャイルド・スポンサーシップを通して、温かいご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。2013年度の活動報告として「プログラム近況報告」と、チャイルドの「成長報告」をお届けいたします。昨年度も活動を進めることができましたのは、子どもたちを思い、継続的にご支援をくださる皆さまのおかげと、感謝しております。この1年の地域支援における活動の成果、今後の課題をご確認いただくとともに、チャイルドの成長とともに喜んでいただけますと幸いに存じます。

皆さまのチャイルド、そしてすべての子どもたちが健やかに成長できる地域となることを目指し、活動を続けてまいります。皆さまの尊いご協力を、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人
ワールド・ビジョン・ジャパン
常務理事・事務局長

片山 信彦



ADPマネージャーからのごあいさつ

タブラヤ地域よりごあいさつ申し上げます。

日ごろより地域の子どもたちやその家族、地域の人々への温かいご支援をいただき心より感謝申し上げます。皆さまのご支援を通して、今年度も私たちはタブラヤ地域の47の村でパートナーである地方政府、教育関係者、医療関係者や地域のリーダーたちとともに4つのプロジェクトを実施することができました。地域の子どもたちの環境は徐々に整えられてきています。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ニポン・サエソウ (タブラヤADPマネージャー)



保健衛生プロジェクト

地域のお年寄りや障がいのある人々のケアに子どもたちも取り組んでいます

地域の保健ボランティアが養成され、保健の知識を広める活動を通して、子どもを含む地域住民が、感染症と予防についての対処方法を習得しました。住民の健康増進を図る取り組みが続けられた結果、地域の一部では感染症のり患率が減少しました。そのため保健ボランティアの活動には、地域の保健医療機関からも期待が寄せられています。

昨年度から、母子保健を中心に活動する保健ボランティアの養成も行っています。ボランティア養成講座では、母親に対して母乳育児、予防接種、出産前後のケア、栄養、子どもの発達、さらには障がいのある子どもたちのケアといった知識や対処方法を学び、実践しています。

そして今年度は、地域に住む小学3年生から6年生までの24人の子どもたちを「小さな保健ボランティア」に任命しました。「小さな保健ボランティア」たちは、地域のお年寄りや障がいのある方たちの家庭を訪問し、彼等が孤立しないよう話相手になったり、簡単なマッサージをするなどの活動を行っています。



障がいのある方の健康状態を家庭訪問で確認し、機能回復のための簡単な治療を施している保健ボランティア



新たに母親になった女性の家を訪問し、健康状態を聞いている保健ボランティア



病院関係者から、初歩的な介護の仕方を学ぶ「小さな保健ボランティア」たち



「小さな保健ボランティア」たちによるお年寄りへの介護活動の様子

経済開発プロジェクト

より安全で、持続的な農業生産を目指して 取り組みを進めています

タブラヤ地区の多くの農家は、化学肥料や農薬に依存しすぎた結果、借金とやせた土質、低い収穫率に悩まされてきました。これを改善するには稲を刈り取った後の株や草、家畜の糞の有機物を使い有機肥料を作り、時間をかけて土壌の改良をしなければなりません。今年度は、この取り組みに参加を希望する農家を対象に、土の準備と米生育のための計画を立てました。また、農家が土の状態を評価し、改善計画を立てるのを支援するため、地方政の農業部門と協力して、土壌の質を診断する「土質ドクター」の育成も行いました。その結果、地域の7割の農家が有機農法へ転換することへ興味を示しています。この取り組みを継続することで、米の品質と収穫率の増進を目指します。

地域を巡回し、種蒔き前の土壌のPH値を測定し、有機肥料の使い方などをアドバイスする土質ドクター(右端)



試験的にワールド・ビジョンから提供された高品質な米の種を蒔いた5カ月後に、収穫することができました。ADP内の農家へこの新しい品種の種を供給することで、次の米収穫に向けて準備を進めることができました



スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

「スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト」では、チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。そのため、チャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、さらに地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認を行っています。また、チャイルドの家族や地域の人たちが「子どもを中心とした開発」を理解し、その支援活動の中心を担っていくような啓発活動も行っています。

会計報告

収支計算書

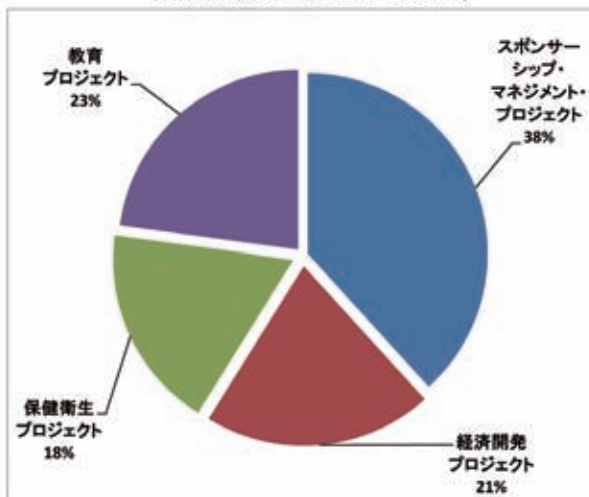
自 2012年10月1日 至 2013年9月30日

プログラム支援額	
チャイルド・スポンサーシップ	19,452,594
当期支援額	19,452,594
前期繰越金	5,207,551
プログラム支援額合計	24,660,145

プログラム支出額	
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	8,523,050
経済開発プロジェクト	4,586,220
保健衛生プロジェクト	4,071,313
教育プロジェクト	5,092,408

プログラム支出額合計	22,272,991
次期繰越額	2,387,154

支援分野別内訳(THA-191642)



教育プロジェクト

教育内容の充実と、 将来の地域を支える世代の育成に 力を入れました

ADPでは幼児発達センターでの活動を通して、就学前教育の充実に力を入れました。そして子どもたちが小学校にスムーズに進学し、効果的に学習を続けられるよう学校との協力関係も強化しました。4つの幼児発達センターでは、研修を受けた教師たちが、読み聞かせや人形、ゲームを導入した教材、教案を作成して授業を行った結果、子どもたちが学ぶ楽しさを知る機会が増えました。また、350羽の鶏を幼児発達センターに配給しました。この支援を受けて、幼児発達センターではカリキュラムに鶏の飼育が加わり、子どもたちが動物の世話をする経験をしたり、新鮮な卵を使った美味しい高たんぱく質の昼食を楽しむことができるようになりました。さらに、地域の2つの青少年グループでは、140人あまりのメンバーが定期的に集まり、地域の清掃や活動を行っています。



幼児発達センターで、子どもたちが手作りの人形を使ってお話をしている様子



支援された鶏が生んだ卵を手にする子どもたち



学校や自治組織の大人たちとともに地域の清掃をする青少年グループのメンバーたち



お問い合わせ

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

電話：03-5334-5351 FAX：03-5334-5359

e-mail：dservice@worldvision.or.jp ホームページ：www.worldvision.jp

ワールド・ビジョン・ジャパンの活動についての最新情報を掲載しております。ホームページにぜひお立ち寄りください。

プログラム近況報告

タイ王国 トウンワ地域開発プログラム(THA-191647)

2013年度(2012年10月1日～2013年9月30日)

子どもたちの学ぶ意欲と 活動への参加率に変化が見られました

2013年度は、これまでの活動の成果を実感できた年でした。生徒の両親に積極的に子どもの教育に関わるよう働きかけてきました。その結果、学校の出席率が向上し、子どもたちの学ぶ意欲、様々な活動への参加率も増えました。また一方で、保健ボランティアの能力強化を継続し、子どもたちやその家族に感染症の予防方法を伝えた結果、衛生的な習慣が実践され、地域における感染症の発生率が減少しました。経済開発プロジェクトを通して形成された収入向上のためのグループでは、グループの運営能力を高めることに重点的に取り組んでいます。将来、それらのグループがさらに参加者を増やし、住民が互いに支え合っていく仕組みとなることが期待されています。

これからも、引き続き学校教育の質の向上に取り組んでいきます。

タイ語と算数の講習会やコンテストを通して、子どもたちが学ぶ楽しさを知ることができました



チャイルド・スポンサーの皆さま

日ごろより、チャイルド・スポンサーシップを通して、温かいご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。2013年度の活動報告として「プログラム近況報告」と、チャイルドの「成長報告」をお届けいたします。昨年度も活動を進めることができましたのは、子どもたちを思い、継続的にご支援をくださる皆さまのおかげと、感謝しております。

この1年の地域支援における活動の成果、今後の課題をご確認いただくとともに、チャイルドの成長とともに喜んでいただけますと幸いに存じます。

皆さまのチャイルド、そしてすべての子どもたちが健やかに成長できる地域となることを目指し、活動を続けてまいります。

皆さまの尊いご協力を、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人
ワールド・ビジョン・ジャパン
常務理事・事務局長

片山 信彦



ADPマネージャーからのごあいさつ

トゥンワ地域よりごあいさつ申し上げます。

このトゥンワ地域の子どもたちとその家族、そして地域の人々のために温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

トゥンワ地域のあるタイ南部は、仏教徒とイスラム教徒が共存する地域です。言語、文化、生活習慣など様々な違いを乗り越えて、人々そして子どもたちがともに支え合う地域づくりに取り組んでいます。皆さまのご支援はそうした取り組みへの大きな支えとなっています。今後ともトゥンワ地域へのご支援をお願い申し上げます。

ピヤネット・ソンチュンナム (トゥンワADPマネージャー)



経済開発プロジェクト

支出を減らし、収入と貯蓄を増やす

トゥンワ地区の山間部は、ゴムの樹液採取労働者の多い地域です。近年、ゴムの価格低下が続き、生活が苦しくなっています。必要な生計を保ち、自給自足できるようになるために、ナマズ、鶏、家鴨、卵を産む雌鶏が150世帯に提供され、それぞれの生産活動に応じて4つの家畜グループが形成されました。

自給自足の術を得たことで、各家庭は1年を通じて新鮮で安全な食材を手に入れることが可能になり、余剰分を売って臨時収入を得ることも出来るようになりました。またいくつかの世帯では、グループで調理器具、道具、設備をそろえ、タイの伝統的なお菓子を作って売るようになり、副収入が得られるようになりました。

しかし、支出を減らして収入を増やすのと同じくらい大切なのは、貯蓄することと、家計の帳簿を付ける習慣を身につけることです。156世帯に基礎的な講習を受けてもらったところ、87世帯が収入と支出の帳簿を継続してつけるようになり、20世帯は毎月の予算を立てるようになりました。時間はかかりますが、貧困から立ち上がる大切な一歩です。



ナマズと餌の支援を受けた家族



安定して食料を確保できるようになりました



講習を受けて家庭の収入と支出を記入する女性。毎月の予算を立てられるようになりました



タイの伝統的なお菓子を作るグループ。この売上が家計を支える副収入につながります

教育開発プロジェクト

魅力ある教室と学ぶ体験を創り出す

絵本や学習シートなどの教材を手作りで作成する研修に教師たちが参加しました。その結果、6つの小学校に通う700人を超える生徒たちにその手法が使われ、子どもたちにとってタイ語の文字を学ぶことが、より楽しいものになりました。生徒たちが楽しそうに学び、字を書いて喜んでいるのを見て、教師たちはさらに自分たちのスキルを磨き、より良い教材を作ろうと意欲が高まりました。

またキャンプ、理科と社会科の課外学習といった活動を通して、参加した800人を超える生徒たちは年齢にふさわしいライフ・スキル[※]を身につけ、自分や他人に対する責任を自覚し、分かち合い助け合う精神を学びました。

昨年1年間、家庭の事情などで学校の授業についていけない子どもたちを対象に、タイ語と算数の講習会やコンテストを実施しました。参加した140人あまりの小学生にとっては、単なる補習ではなく、学ぶ楽しさを発見し、生涯学習の基礎を作る大切な第一歩となりました。

※ライフ・スキル 子どもたちが、自分で考え、意思決定し、それを伝えることができるようになる能力のこと



手作りの教材を使って生徒たちに単語の構造について教える教師



研修を受け、より良い教材の作り方を学ぶ教師たち



理科の課外授業の様子

会計報告

収支計算書

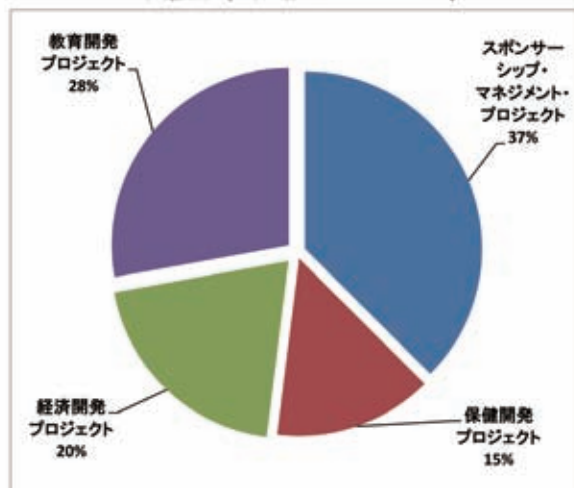
自 2012年10月1日 至 2013年9月30日

プログラム支援額		THA-191647 (単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ		24,792,889
当期支援額		24,792,889
前期繰越金		3,911,042
プログラム支援額合計		28,703,931

プログラム支出額		
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト		9,341,512
保健開発プロジェクト		3,613,071
経済開発プロジェクト		5,025,209
教育開発プロジェクト		6,944,291

プログラム支出額合計	24,924,083
次期繰越額	3,779,848

支援分野別内訳(THA-191647)



保健開発プロジェクト

保健ボランティアの活躍が地域の保健衛生環境の改善に役立っています

2012年度までに研修を受けた20人の保健ボランティアは、今年度、地域の各所で住民を対象にした健康や感染症の予防についての集会を開き、講師として活動を行いました。子どもや大人が知っておくべきHIV/エイズ、結核といった感染症、性と生殖に関する健康、栄養などについての重要な知識やスキルを学びました。

保健ボランティアの仕事は知識の伝達にとどまらず、予防や対応を要する患者が出た場合に、政府や医療機関と連携して必要な支援を提供することもあります。



村の女性を対象に、感染症について学んだ知識を伝えている保健ボランティア

今年度、500人を超える母親が乳幼児、幼児に必要な栄養について学び、700人の子どもとその家庭が感染症に関する研修を受け、蚊帳の使用、蚊が繁殖する水溜りの除去、食前の手洗いの重要性を理解、実践し始めています。



家庭の衛生環境について研修を受け、食前の手洗いをする様子



寝る前に蚊帳を取り付けることを学び実践する親子

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

「スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト」では、チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。そのため、チャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、さらに地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認を行っています。また、チャイルドの家族や地域の人たちが「子どもを中心とした開発」を理解し、その支援活動の中心を担っていくような啓発活動も行っています。

お問い合わせ

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

電話：03-5334-5351 FAX：03-5334-5359

e-mail：dservice@worldvision.or.jp ホームページ：www.worldvision.jp

ワールド・ビジョン・ジャパンの活動についての最新情報を掲載しております。ホームページにぜひお立ち寄りください。